

彩が丘社協だより



第34号

発行:彩が丘学区社会福祉協議会
発行日:令和3年7月25日

ワクチン接種を受けて

7月4日(日)、グリーンアリーナ(広島県立総合体育館)で2回目のワクチン接種を受けました。お陰様で、副反応は左上腕部の筋肉痛だけでした。一安心です。

当初は、ワクチン接種用クーポン券が遅々として届かない焦燥感と苛立ち、それと同時に基礎疾患がある故に接種後の副反応への不安感が同居していました。

かかりつけのお医者さんから「あなたの周りの大切な人にうつさないためにも、是非受けてください」との言葉で決断しました。

6月11日(金)に、クーポン券が届きました。緊張感と不安感の中、6月13日(日)10時30分、グリーンアリーナで1回目の接種を受けました。

1回目の際は、館内は「ガラガラ」の状態で、私と同年齢層の方が大半でしたが、3週間後の2回目は老若男女を問わず多くの人がいらっしゃいました。

両日とも、医療関係者を含めスタッフの方々の笑顔と丁寧さが、皆さんの接種者に安心感を与えたと思います。ありがとうございました。



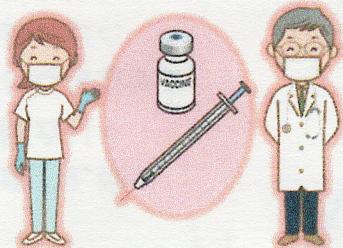
(2 回 目 接 種 会 場 の 様 子)

最後に(私事で恐縮ですが)、接種後の経過観察中、マスクとフェイスガードをつけた二人の若いスタッフが私に声を掛けてくれました。

「F先生ですよね。7年前のJ高校の卒業生です。お手伝いに来ています。」彼らからの言葉で副反応の懸念は忘れ、15分があっと言う間に過ぎていました。

まさに「世間は狭い(It's a small world.)」と思いました。

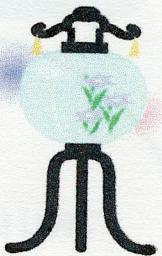
(K.F)



コロナ禍での「お盆休み」

お盆休みと言えば、ご先祖様の靈を祀る宗教行事としてだけでなく、国民の休暇、民族移動の時期としての側面もあり、子ども達にとっては夏休みの楽しみのひとつです。

お盆の期間中は、ご先祖様が我が家に帰って来られると言われ、道に迷わず家に戻られるように、盆灯籠がその道を照らす役割をします。

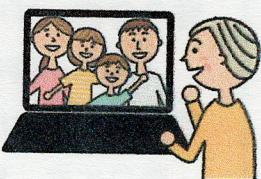


また、家族と一緒に過ごされる三日間を気楽に過ごしてもらうために灯明を^ためやさないように、また、お好きだった食べ物などをお供えします。

一方で、お盆休みは親御さん、お爺ちゃん、お婆ちゃんにとって「二つの日曜日が同時に来る(Two Sundays come together.)」で「楽しさ半分、疲れも半分」って感じですか？

でも、昨年に引き続いて今年のお盆休みもコロナ感染防止の観点から、人の動きを自粛することが求められています。

昨今は「テレビ電話」も活用出来るものの、やはり、家族が実際に触れ合い、お墓参りをしたり、食事を共にしたりし、談笑する喜びに勝るものはないと思います。



「お盆休みの里帰り」という江戸時代頃から広がったと言われる風習が、コロナ禍で消滅しそうな現状と、更には、オリンピック・パラリンピック後のコロナ感染状況を憂う今日この頃です。 (K.F)

暑中お見舞い 申し上げます

心身とも過ごしにくい日が続きます。

コロナ感染、熱中症、豪雨災害には、皆さん引き続き、
お気をつけください。

十分な睡眠、適度な運動、栄養バランスのとれた食事に心がけ
笑顔で、健康にお過ごしください。



(彩が丘社会福祉協議会役員一同)

